

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉中学校

## ■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

## ■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／理科に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

## 1 調査結果について

### ■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「読むこと」の事象や行為、心情を表す語句を理解することには高い定着があり、日頃からの継続した取組の成果がみられます。一方で「書くこと」の思考力・判断力・表現力の正答率が低く、主題や表現の工夫を説明することに課題が見られます。
- ・数学の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着が見られます。特に、「図形」の証明において全国の平均正答率を上回っており、合同の証明について粘り強く取り組んだ成果がみられます。一方で「数と式」の知識・技能の定着に課題があり、用語の意味をきちんと理解することが必要であることが明らかになりました。
- ・理科の平均IRTスコアは全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「粒子」を柱とする領域について高い定着が見られます。一方で、「エネルギー」を柱とする領域については正答率が低く、特に予想される結果を文章で記述することに課題が見られます。

### ■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目  
「朝食を毎日食べていますか」「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「読書は好きですか」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目  
「新聞を読んでいる」「家庭で勉強以外にインターネットを長時間利用する」「わからないことがあったときに自分で学び方を考え工夫する」といった項目の数値に課題があります。

## 2 これからの取組について

### ■学校で取り組んでいくこと

- ・教科全般にわたり、わからないことや知りたいことがあったときに、自分で学び方を工夫できるよう、多種多様な学びのかたちを提示し、主体的に学びに向かう能力を育てていきます。
- ・国語の「書くこと」の学習では、文章の要約や短作文等を意図的に行い、文章で自分の考えを表現する活動をより多く取り入れていきます。
- ・数学の「数と式」の学習では数学の用語について具体例を用いて確認し、問題演習で知識の定着を図っていきます。また、擬変数をうまく活用しながら文字の入った問題についても対応できるようにしていきます。
- ・理科の学習では、自分の考えを記述することに力を入れ、その考えを他者と議論することを通して、より科学的な思考を身につけられるように取り組んでいきます。

### ■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・これからも、「毎日朝食を食べる」「毎日同じくらいの時間に起きる」等、規則正しいリズムで生活できるように見守ってあげてください。
- ・スマホ等を使う時のルールを親子で確認して守らせる中で、毎日の学習時間の確保ができるように、声かけをお願いします。
- ・多くの生徒が「困りごとや不安がある時に大人に相談できる」と答えています。これからも、日頃から親子で会話する時間をとり、悩み事や心配事がある時にはすぐに相談できるような環境づくりをお願いします。
- ・本や新聞等を家に置くことで、普段から更に積極的に活字に触れられるような環境づくりをお願いします。